

体育科 (保健領域) 学習指導案

指導者 T1 6 学年担任
T2 外部講師 (医師)

1. 日時 令和 7 年 ●月 ●日 第 ●時限
2. 場所 ●●小学校体育館
3. 学年・組 第 6 学年 ●組 (男子 ●名・女子 ●名, 計 ●名)
4. 内容のまとめり・単元名
(3) 病気の予防 (エ) 喫煙,飲酒,薬物乱用と健康 がんについてもっと知ろう

5. 本時の目標

- ・喫煙を長い間続けるとがんなどの病気にかかりやすくなる影響があることを理解できるようにする。【知識及び技能】
- ・がんの予防や回復に関する課題について,学習したことを活用して解決の方法を考えたり,選んだりすることができるようにする。【思考力, 判断力, 表現力等】

6. 本時の展開

段階	時間	学習内容・活動	形態	教師の指導・支援 (○) 評価規準及び方法 (■)
はじめ (導入) 6分	0	1 本時の学習内容について確認する。 ・がんについて専門的な知識を専門家と学習することを確認する。	一斉	○T1: 本時の目標を確認する。 ○T2: 本時の内容の説明をする。
	がんについて正しく知ろう			
「がん」という言葉を聞いたことがあるか?				
	2	2 外部講師 (医師) の話を聞く。 ・1980 年代、がんは治すことができない病気だった。 ・がん患者の実話 ・抗がん剤について ・がんは再発することがある	一斉	○T2: 児童の回答を確認し、講師のがん治療の経験を踏まえてがんに関する知識を確認する。

なか （展開） 2 3 分	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">がんにかかる人はどのくらいの割合？</div>	
		<p>3 外部講師(医師)の解説を聞く。 ・がんにかかる人の割合を考える。</p> <p>・がんにかかった人の何人に1人がなくなるかの割合を考える。</p>	<p>一斉</p> <p>○T2：児童の回答を確認し、がんにかかる人の割合は2人に1人であることを説明する。 ○T1：黒板に「がんになる人 2人に1人」と板書する。</p> <p>○T2：児童の回答を確認し、がんにかかって亡くなる人の割合は3人に1人であることを説明する。 ○T1：黒板に「がんで亡くなる人 3人に1人」と板書する。</p> <p>○T2：がんを治療して世界で活躍するスポーツ選手を例に挙げ、がんは治せる病気でもあることを理解してもらうよう説明する。 ○T1：黒板に「治る人もいる」と板書する。</p>
	9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なぜがんになるのだろうか？</div>	
		<p>4 外部講師(医師)の解説を聞く。 ・がんの原因について考える。 生活習慣、紫外線、異常な細胞</p> <p>・がん細胞がうまれるしくみ</p> <p>・がんと関係のある要因 男性はたばこ、女性は感染</p> <p>・がんと関係する感染 HPV</p>	<p>一斉</p> <p>○T2：児童の回答を確認し、生活習慣とのつながりがあることを理解してもらうよう働きかける。 ○T1：黒板に「がんになる原因」と板書し、児童の回答をまとめていく。</p> <p>○T2：スライドを用いながら、身近な例を挙げて異常な細胞について説明する。 ○T1：黒板に「細胞のミスコピーが起こる」と、がんの原因についての補足情報を板書する。</p> <p>○T2：がんは誰でもなりうる可能性があるということを理解してもらう。 ○T2：グラフを用いて、女性と男性のがんの原因の違いを説明する。特にたばこの危険性について説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>■【知識・技能】学習活動4 <観察></p> </div> <p>○T1：黒板に「感染するがんもある」と板書する。 ○T2：スライドを用いて、感染が原因となるがんがあることを説明する。特にHPVによる感染についての危険性を理解してもらうよう働きかける。また、身近な例を挙げながら、ワクチンで予防できるがんがあることを説明する。</p> <p>○T2：感染してがんになることはあるが、がんそのものが感染することはないことを説明する。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">がんを予防しよう</div>		
	23	<p>5 生活習慣について、外部講師(医師)の解説を聞く。 ・たばこの危険性 ・飲酒</p>	<p>一斉</p> <p>○T2：がんを予防するのに効果的な生活習慣を説明する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスの良い食生活 ・適度な運動 ・定期的ながん検診 		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> がんを早期発見できる可能性があるのはどれ？ </div>		
25	<p>6 選択肢 A.B.C から自分の考えに当てはまるものを選ぶ。</p> <p>A 症状でわかる</p> <p>B 血圧でわかる</p> <p>C がん検診でわかる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両親の年代ががん検診を受ける適齢期であることを学ぶ。 	一斉	<p>○T2：児童に挙手をさせて回答を確認し、がん検診について説明する。</p> <p>○T1：黒板に「がんを早く見つけるには？」とがん検診についての補足情報を板書する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■【思考・判断・表現】学習活動6 <観察></p> </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> がんになったらどんな治療があるの？ </div>		
27	<p>7 がんの治療について考え、外部講師(医師)の解説を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術 ・放射線 ・くすり(抗がん剤など) ・心と体の緩和ケア 	一斉	<p>○T2：児童の回答を確認し、がんの治療法、緩和ケアについて説明する。</p> <p>○T1：黒板にがんの治療法の図を板書する。</p>

まとめ (整理) 1 6 分	30	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 2px;">「がん」がみつかったら</div> <p>8 外部講師(医師)の解説を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんになった人の気持ちを考える。 ・身近な人ががんになったときどうするかを考える。 ・支援してくれる専門家がいることを学ぶ。 ・医師 ・看護師 ・薬剤師 ・栄養士など 	一斉	<p>○T2：がんになった人の気持ちを説明し、身近な人ががんになったときどうするかを児童に考えさせ、挙手で回答を確認する。時間があればディスカッションをして、思考を深めるよう働きかける。</p> <p>○T1：黒板にがんになった人の気持ちについて「どうやって支える？」と板書する。</p> <p>○T2：スライドを用いて、専門家ががん患者を支援していることを説明する。</p>
	33	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 2px;">がんの情報はどこから手に入れる？</div> <p>9 外部講師(医師)の解説を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰が発信しているか ・いつの情報か ・何を根拠にしているか 	一斉	<p>○T2：スライドを用いて、がんの情報の入手方法について説明する。</p> <p>○T1：黒板にインターネットの情報について板書する。</p>
	34	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 2px;">家族が「がん」になったら</div> <p>10 外部講師(医師)の解説を聞く。</p> <p><家族ががんになったら></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の気持ちや希望を理解する ・自分自身も大切にす ・情報とうまく付き合う <p>誰かから「がん」だと打ち明けられたら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで通りふつうに接する ・必要以上に心配しない ・治療について余計なことは言わない ・他人にはむやみに言わない ・悩みを打ち明けられたら、じっくり聞く ・これをきっかけにがんを正しく理解する <p><がんに関する質問を考える></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの種類 ・がん患者の割合 ・マーガリンに発がん性があるのか ・がんの原因をもとにしたおす 		<p>○T2：スライドを用いて、がんになった人との関わり方について説明する。</p> <p>○T2：事前アンケートの回答に触れ、内容の確認をする。</p> <p>○T2：ほかに質問がないか児童に確認し、挙手をさせ回答してもらい、本時の授業内での情報を引用しながら応答する。</p> <p>○T1：質問に関する補足情報を黒板に付け足す。</p>

	<p>すめの予防法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんになったときの合図 ・がんになっても運動できるのか <p>40 11 本時のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい情報を選択できるようにする ・まだまだ分からないこともあるから、決めつけない ・心配しすぎない ・健康的な生活を送る <p>44 日直が挨拶をする。</p>	<p>○T1：本時のめあてを振り返り、がんについて学んだことを踏まえて、様々な情報を正しく入手することの重要性について理解できるよう働きかける。</p> <p>○T1：話に集中できていない生徒の名前を呼び、話に意識するよう働きかける。</p> <p>○T1：他の保健の授業でも、病気について考えていくことを伝える。</p>
--	---	---